

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	漏水調査			
所管部局	水道局	部局長名	明神 公平	予算事業名
所管部署	給水課	所属長名	小崎 則和	予算事業科目(平成25年度)

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	05 まちの環
政策	28 安全安心の都市空間整備
施策	88 水道ライフラインの強化

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務	水道施設の耐震化等を推進するとともに、市民との連携や、他都市事業体との相互連携・応援体制の確立などによる防災対策を充実させます。 また、安全な水を確保し、突発的な水質汚染事故などに対応できるように、水質管理体制の強化を図ります。
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他（計画、覚書等）	高知市水道事業基本計画2007		
施策取組方針			

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	上水道、簡易水道のすべての管路	
意図	どのような状態にしていくのか	漏水の早期発見、修繕を行い、安全安心で効率的な給水体制の強化	
手段	事業実施体制等	<input type="radio"/> 直営漏水調査担当職員2名 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 設計監督及び修繕担当職員3名	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<input type="radio"/> 給水区域全域を対象とした、委託業務、直営業務による漏水調査 <input type="radio"/> 発見した漏水の早期の修繕	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	漏水率	漏水率 = 年間漏水量 / 年間配水量 × 100
	B		
	C		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄
成果指標	A	漏水率	目標 3.0以内	3.0以内	3.0以内	3.0以内	漏水率の推移 H17(2.7), H18(4.3), H19(3.0), H20(1.8), H21(3.0), H22(2.6), H23(3.1)
		実績	2.6	3.1	2.7		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	105,863	114,300	103,341	132,750	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)	105,863	114,300	103,341	132,750
			一般財源 (千円)	0	0	0	0
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	43,200	43,200	37,000	37,000	
		正規職員 (千円)	43,200	43,200	37,000	37,000	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	6.00	6.00	5.00	5.00	
		正規職員 (人)	6.00	6.00	5.00	5.00	
その他 (人)							
総コスト = ① + ② (千円)		149,063	157,500	140,341	169,750		
市民1人当たりコスト (円)		440	466	415		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	○安全な水を確保し、突発的な濁水事故の軽減に結びついている。 ○市民の目に成果の見えない業務であり、積極的な反応は少ない。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	○目標数値の前後で推移しているが、確定する段階には至っていない。 ○常時調査、即時修繕を行なう以外に有効な手段は無い。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	4.0	○一部は実施済、時間外等の業務も多く、さらに特殊な技能を必要とするため、民間での信頼できる人材が少ない。 ○現状が望ましい。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	○目的・手法とも公平である。 ○財源割合は妥当。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	16.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	一次評価のとおり アウトソーシングの拡大は可能であるが、技術の継承や即時に対応するためにも、職員による業務実施を継続したい。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--